

目 次

一上 卷一

偏微分方程式と計算機への序論

1. 偏微分方程式の分類に関する 2,3 の注意	1
2. 連立方程式と単独の方程式	7
3. ディジタル型計算設備の諸性質	8
3.1. 卓上計算	9
3.2. パンチ・カード計算機	11
3.3. 自動ディジタル型計算機	11
3.4. 偏微分方程式の諸要求	14

1. 2 独立変数の双曲型方程式

4. 方程式 $u_{tt} - u_{xx} = 0$ への 1 つの差分近似	17
4.1. $u_{tt} - u_{xx} = 0$ に対する最も簡単な初期値問題の解	17
4.2. 1 つの近似差分方程式	18
4.3. $\lambda < 1$ に対する差分方程式の陽的解	21
4.4. 有限な Fourier 級数による差分方程式の解	26
4.5. 微分問題の解への収束	27
4.6. 安定性	30
5. さらに安定性の概念について	33
5.1. 定義と簡単な 2,3 の例	33
5.2. 波動方程式への応用	40
6. 双曲型連立偏微分方程式とそれらの特性曲線	43
6.1. 標準形	43
6.2. 例	47
6.3. $n=2$ のときの標準的な連立偏微分方程式	49

6.4. 初期値問題に関する諸注意	51
7. 連立あるいは仮線型の双曲型方程式のための	
差分法による近似解法	56
7.1. 計算過程の記述	56
7.2. 差分近似の収束を証明するための一般模型	62
7.3. 双曲型連立方程式に対する差分模型の収束	66
7.4. 曲線状格子における差分	71
7.5. 丸めの誤差	72
8. 特性曲線にそした数値解法	74
8.1. Massau の方法	74
8.2. 2階の仮線型方程式	76
8.3. n 個の従属変数のときの他の数値解法	77
9. Adams の方法による数値解法	79
10. 衝撃波	83
10.1. 衝撃波の概念	83
10.2. 衝撃波を含む諸問題の数値解法	86
10.3. 見せかけの粘性項による衝撃波面の計算	90
10.4. 粘性流の真の方程式の解法	96
10.5. Lax の差分解法	98

2. 放物型方程式

11. 最も簡単な熱の流れの問題	102
11.1. 準備的諸注意	102
11.2. 初期値問題の解	103
12. 最も簡単な差分近似	106
12.1. 安定条件	106
12.2. 収束と離散化誤差	110
13. 有限区間における線型問題	114
13.1. 微分問題	114
13.2. 差分近似	116

13.3. 1つの陰伏的な方法	118
13.4. 陰伏的な差分方程式の解	120
13.5. 陰伏法の収束	122
14. 2変数のもっと一般な線型放物型諸問題：陽的諸方法	125
14.1. 形式的な陽的差分近似	125
14.2. 重畳による非齊次な線型差分問題の解	126
14.3. 正型の差分式の有界性と安定性の諸性質	129
14.4. John の有界性の条件	132
15. さらに線型問題に関する陽的および陰伏的諸方法について	138
15.1. 陰伏的諸方法へのもっと一般な近づき方	138
15.2. 2つ以上の格子線を使用する陽的諸方法	145
15.3. 高階の諸問題	152
16. 収束の他の諸定義. Lax と Richtmyer の理論	155
16.1. 函数解析に関する 2, 3 の注意	155
16.2. Lax と Richtmyer の意味における収束性と安定性	157
17. 非線型の諸問題	159
17.1. 半線型方程式	159
17.2. 他の放物型諸問題の例	161

3. 楕円型方程式

18. 楕円型偏微分方程式をと伴う 2, 3 の数値問題	169
18.1. 一般の Laplace の境界値問題	170
18.2. 排水問題	172
18.3. 石油の流れの問題	174
18.4. 応力問題	177
18.5. 境界層の問題	178
18.6. 膜の固有値問題	179
18.7. 簡単な原子炉の問題	181
18.8. 重調和固有値問題	182
18.9. Plateau の問題	183

18.10. 波動方程式に対する固有値問題	184
19. 楕円型偏微分方程式論からの選ばれた諸結果	184
19.1. 変分法的定式化	184
19.2. ある固有値問題の変分法的定式化	192
19.3. 自己共役性	194
19.4. 内部境界条件	197
19.5. 最大原理	202
20. 楕円型差分方程式問題の形成	203
20.1. 離散化とそれによって生ずる諸問題	203
20.2. 線の方法	206
20.3. 離散化される諸問題の型	207
20.4. 不規則な格子網	208
20.5. 差分方程式を設定する変分的方法	212
20.6. 正方格子網：偏微分係数の近似	215
20.7. 正方格子網： $L(u)$ と Δu の近似	221
20.8. 原子炉拡散方程式への変分法の応用	228
20.9. Dirichlet の境界条件の取り扱い	231
20.10. 法線方向の微分係数の境界条件	235
20.11. 特異点と自由境界	239
21. 楕円型差分方程式を解くことについての古典的理論	239
21.1. 行列方程式としての差分方程式	239
21.2. いろいろの消去法	244
21.3. 反復的諸方法	251
21.4. 同時置換法；勾配法	259
21.5. Richardson の方法	266
21.6. 逐次置換法	277
21.7. Gauss-Southwellの緩和法	284
訳者あとがき	
偏微分方程式の数値解法の参考書	287

